



日本精工株式会社 株主・投資家との対話

2024年度の実施状況

2024年度の実施状況

主な対応者

CEO、CFO、経営企画本部長

対話を行った株主・投資家の概要

投資スタイル：アクティブ、パッシブ（国内・海外）

対応者：ファンドマネジャー、ポートフォリオマネジャー、アナリスト、責任投資担当者、議決権行使担当者、個人投資家

実施内容

決算説明会（ラージミーティング）	4回 延べ352社
個別IR取材	延べ259社
機関投資家エンゲージメント	延べ18社
社長スモールミーティング	3回 延べ29名
海外IRロードショー（訪問・オンライン）	欧州・北米・アジア 26社
海外投資家向けカンファレンス参加	5回 延べ29社
個人投資家説明会	1回74名

対話の主なテーマ及び株主の関心事項

<事業>	✓ 足元の業績及び今後の見通し
	✓ 「中期経営計画2026」の実現性
	✓ ROE及びPBR向上に向けた中期の取り組み
	✓ 業界再編・M&Aの考え方
	✓ 長期ビジョン・将来展望
<財務>	✓ B/Sマネジメント、最適資本構成
	✓ キャッシュ・アロケーション
<ESG>	✓ 取締役会のスキル・マトリックス
	✓ 取締役会での議論状況 (社外取締役の意見等)
	✓ 現CEO・経営陣の評価、CEOサクセッションプラン
	✓ CO ₂ 排出削減の取り組み
	✓ 従業員意識調査の開示
<その他>	✓ 機関投資家の議決権行使基準の改定の方角性

経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況等

株主・投資家の皆様からいただいたご質問・ご意見は、取締役会や経営陣に報告を行い、今後の経営やIR活動の改善、開示の充実につなげています。

CEOによる取締役会への報告	取締役会でCEOより、株式市場の反応、対話の結果や今後の対応について、報告しています。
----------------	---

日常のIR活動	決算発表後の市場の反応、個別IR取材や各IRイベントについては、IR室よりCEOはじめ経営陣に週次または適宜、報告しています。
---------	---

当社の取り組み（対話を踏まえて取り入れた事項）

- ◆ 政策保有株式の更なる縮減
- ◆ 安定的な利益還元の継続として、配当性向30%～50%に加え、2025年3月期よりDOEを採用
- ◆ 機関投資家と社外取締役との対話の実施
- ◆ 統合報告書の開示充実（取締役役会の議論内容、CO₂排出削減の取り組み、人権リスク等）